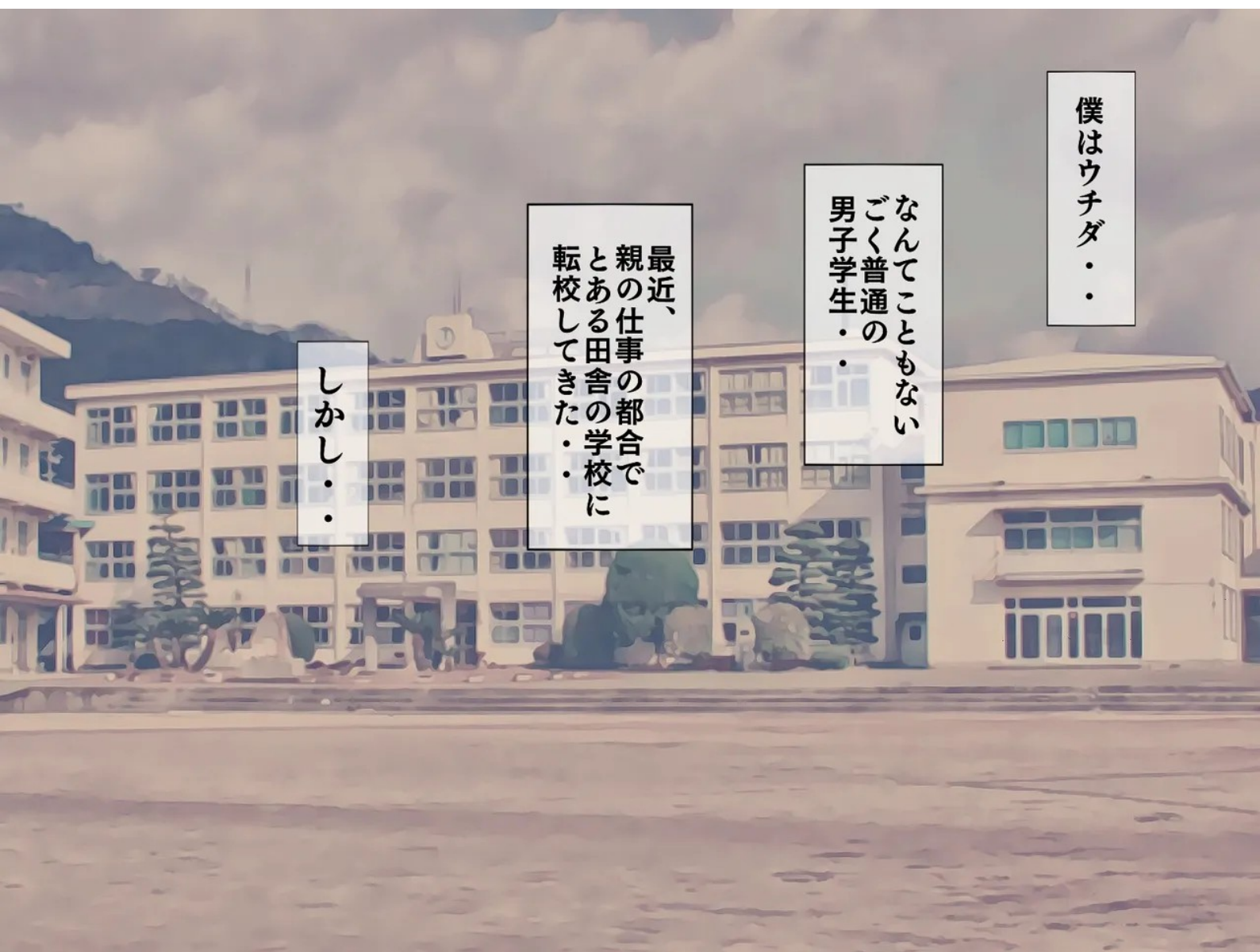


僕はウチダ・・

なんてこともない
ごく普通の
男子学生・・

最近、
親の仕事の都合で
とある田舎の学校に
転校してきた・・

しかし・・





その学校は常にイジメが
横行する性格最悪JK
だったのだ・・
批判の学校



クラスのボスである
イチジヨウさんは
ぬいぐるみを虐待する
性癖の変態で・・・

僕は転校早々
ターゲットにされ
同じクラスのコバヤシさんと
一緒に散々しばかれ
犯されてしまった・・・



しかも
イチジョウさんは
それだけに飽き足らず
僕を他クラスの友達に
紹介すると言い出した

こんな女の
友達なんて
きつとロクな奴
じゃない・・



そして僕は
今日も登校する・

これからどんな
イジメが待っているのか
不安を抱えながら・



ちよ、ちよっと
イチジヨウさん・

僕をどこに
連れて行くの？

言ったじゃん
クマちゃんを
私の友達に
紹介するって

クマちゃんは
みんなの
オモチャになるんだよ
ふふふ

くっ…



い、いやだよ
オモチャなんて
何をされるか
わかったもんじゃない！

大丈夫・
カゲヤマちゃんは
おとなしい子
だから・





カゲヤマちゃん

カゲヤマちゃん
いる？





その少女は・
教室の隅で
小さく
座っていた・

顔には包帯・
生気の無い虚ろな目
血の気の無い肌は
まるで幽霊の
ようであつた・



私のお人形
だから
カゲヤマちゃんの
好きに使って
いいよ



カゲヤマちゃん
この子が転校して
きたウチダの
クマちゃん



(な、なんだ
この人は：
一言も喋らなくて
不気味・こ)



じゃあ
クマちゃん
カゲヤマちゃんと
仲良くしててね

えっ?
ちよつと
イチジョウさん









あ、あの..
カゲヤマさん..

な、なににも
用がないなら
僕は..か、
帰りますね..



こらああ!
カゲヤマああ!



何をサボって
いるのだあ！

今は掃除の
時間だぞ！

ちゃっちゃと
立ってホウキを
持たんかあ！





立てえ！
カゲヤマ！

勉強！スポーツ
清掃は生徒の義務！
サボってはいけません！
大人になれんぞ！
納税できんぞ！

このまま
墮落すれば
非国民だぞば
立ち上がれ！！
カゲヤマ！！



やっと
やる気になったか

むっ

1.
4
.





むっ・・・な、なぜ
男子がここに？

この学校には
女子しかいないはず・・・
おかしいぞ・・・
これはおかしいぞ・・・



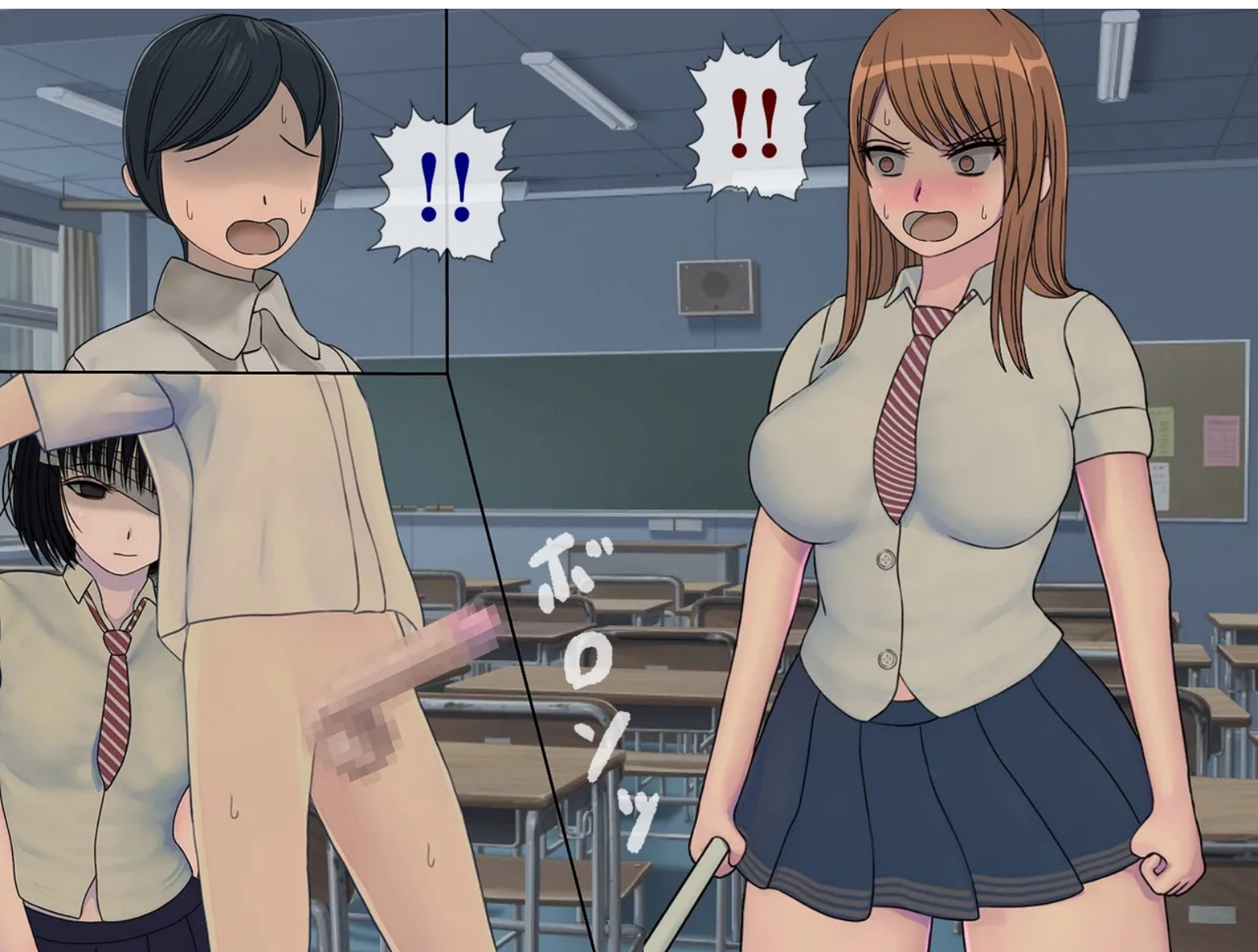


わ、私の名は
サンゼンイン！

このクラスの
学級委員長で
バレエ部の
キャプテンだあ！

は、
はあ...







わあああああ
あああああ
あああああ！
あああああ
あああああ
あああああ！





な、何をする
カゲヤマあ!?

うぐぐ
もごもご

グッ

グッ



突然の
出来事だった・

カゲヤマさんは
いきなり僕の
ズボンをおろし

あろうことか
サンゼンインさんへ
向かって僕の体を
押し付けてきたのだ



は、離せ！離せ
カゲヤマあああ！

お、おい！
聞いているのか！？
手を離せえ！

グッ

ムチ

サンゼンインさんは
僕らより遥かに体格がいいのに
何故か硬直して抵抗できない

さらに僕の顔は
サンゼンインさんの
オッパイに押し当てられ

ペニスは
ムチムチの太ももに
挟まれてしまい
僕は不覚にも
勃起してしまった















精子ぶっかけて
ごめんなさい!

なにいいいい!



何てことするんだあ
この馬鹿 あああ！

うわあああ
あああああ
あああああ！



汚されたあああ！
お嫁に行けないい！

責任とれええええ！
うわあああああ！

ちよ、ちよっと
カゲヤマさん！
待って！



本気のスパイク
したら
死んじゃうよ！

きゃあ！
サンゼンインちゃん
やめて！







全身殴られて
痛いよお

うう・・・イテテ・・・







あ、あれっ？

ぼ、僕の
時計がない！

カバンに
付けてた
はずなのに！



ねえ私たちが
にも知らないよねえ

しらないっ!

『C-SHOCK』
っていう黒の
時計なんです!

ええ知らないっ!

だ、だれか
僕の時計
知りませんか!



はあ？
私がウチダくんの
ダサい時計なんて
盗むわけないじゃーん

イチジョウさん！
まさかあなたが！？









ねえ
サンゼンインちゃん
もう掃除の時間
終わったよ・

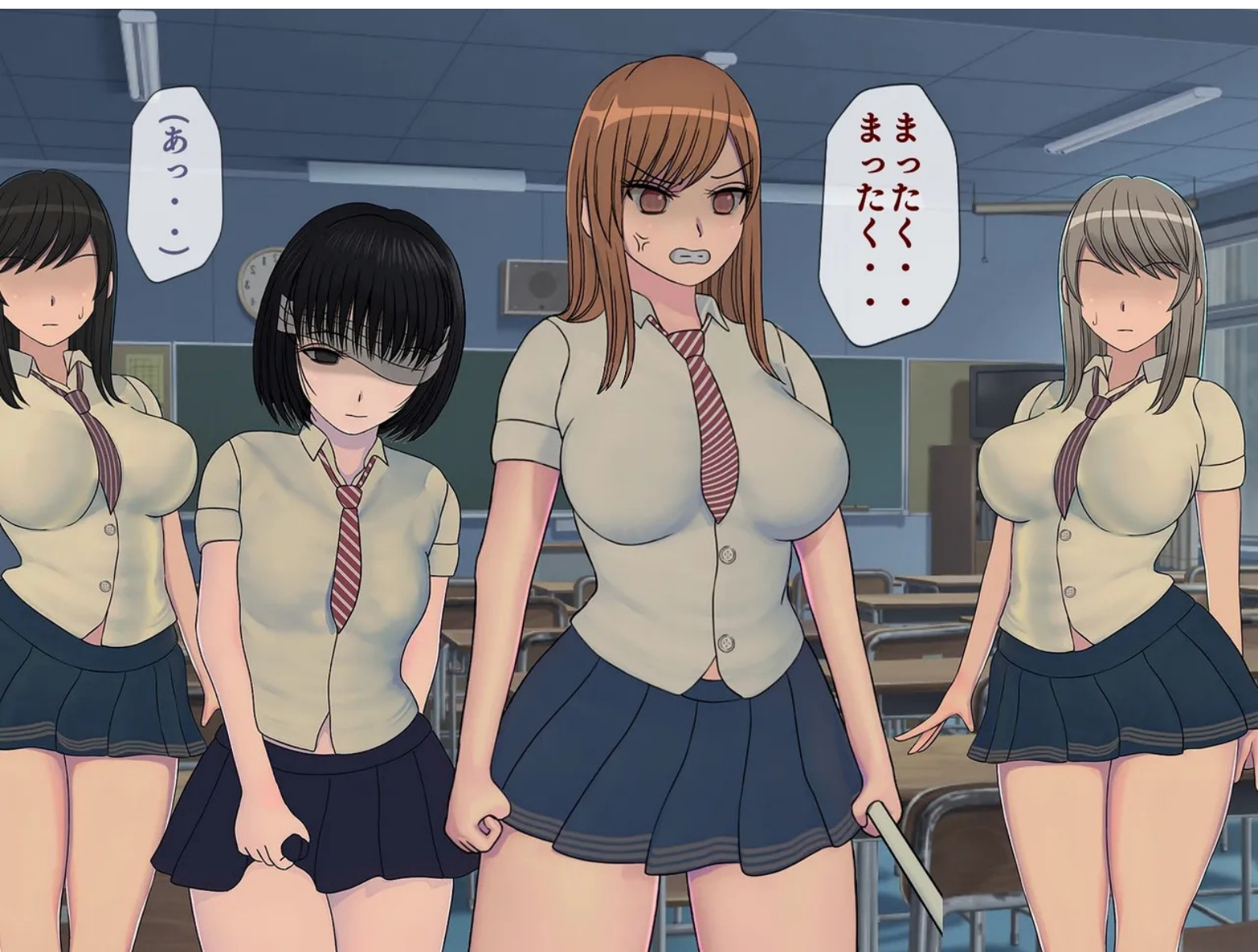
何を言う
まだホコリが
舞っているでは
ないかあ

(もう・
サンゼンインちゃんは
潔癖症なんだから)



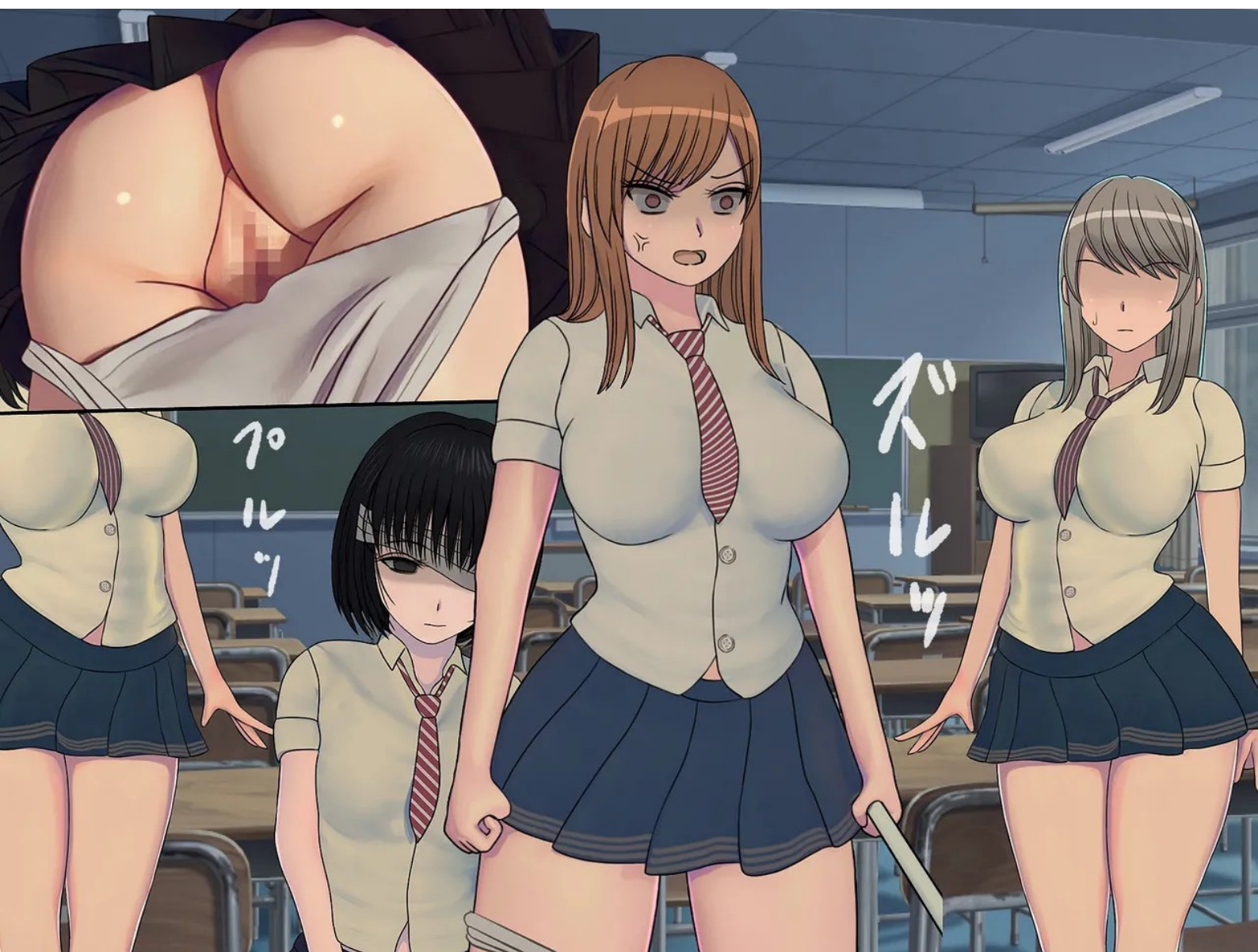
私にあんなことを
した上に掃除まで
サボるとは・・・

それにしても
カゲヤマめ・・・
何処へ行ったのだ？

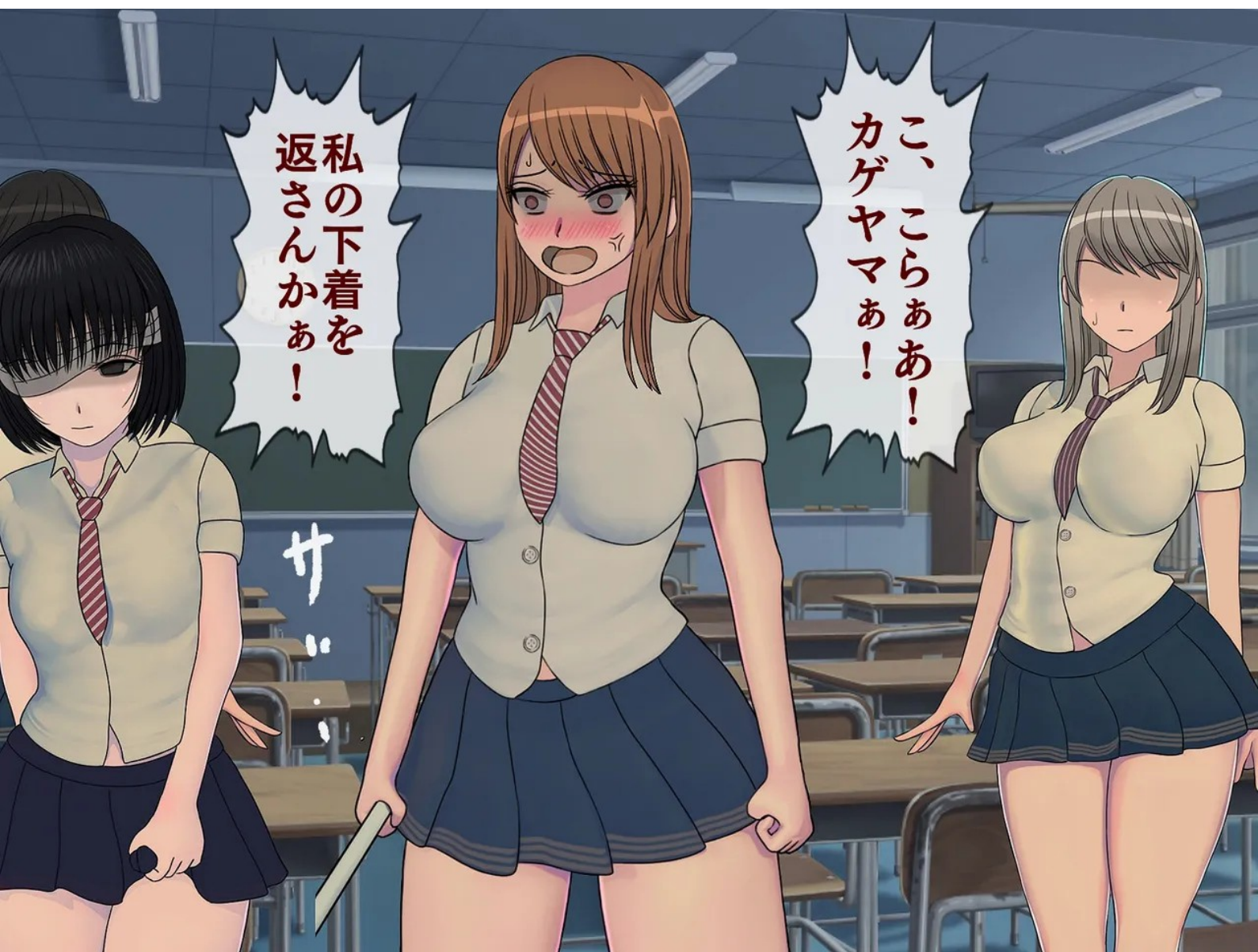


(あっ...)

まったく...
まったく...







私の下着を
返さんかあ！

こ、こらああ！
カゲヤマあ！

サッ



カゲヤマめえ！
もう許さんぞ！























何を
しているのだ
貴様
あああ！
早く
離れんかあ

ぎゃあああ！
く、首が
ああ





わあああああああ!

きやあ!
サンゼンインちゃん
首絞めたら
その子出れないよ!

げ ズウウウ





次の日の朝・



うっ・・・くそ
まだ首が痛いよ・・・

ちくしょう
カゲヤマさんめ
僕とサンゼインさんを
いいように弄んで・・・

結局、時計も
返してもらってないし





おや？

あそこにいるのは
まさかカゲヤマさん？





まったくこの子は...
階段から転んで
怪我をするなんて

ちゃんとママの
言うことを聞かないから
こんなことになるんです

はい! ママ
今後はしっかり
ちゃんとします!



はい！ママ
行ってらっしゃいませ

学校でも
良い子で
いなさい

寄り道
しないよう
車で迎えに
来ますからね

夜は塾と
お稽古
ですからね







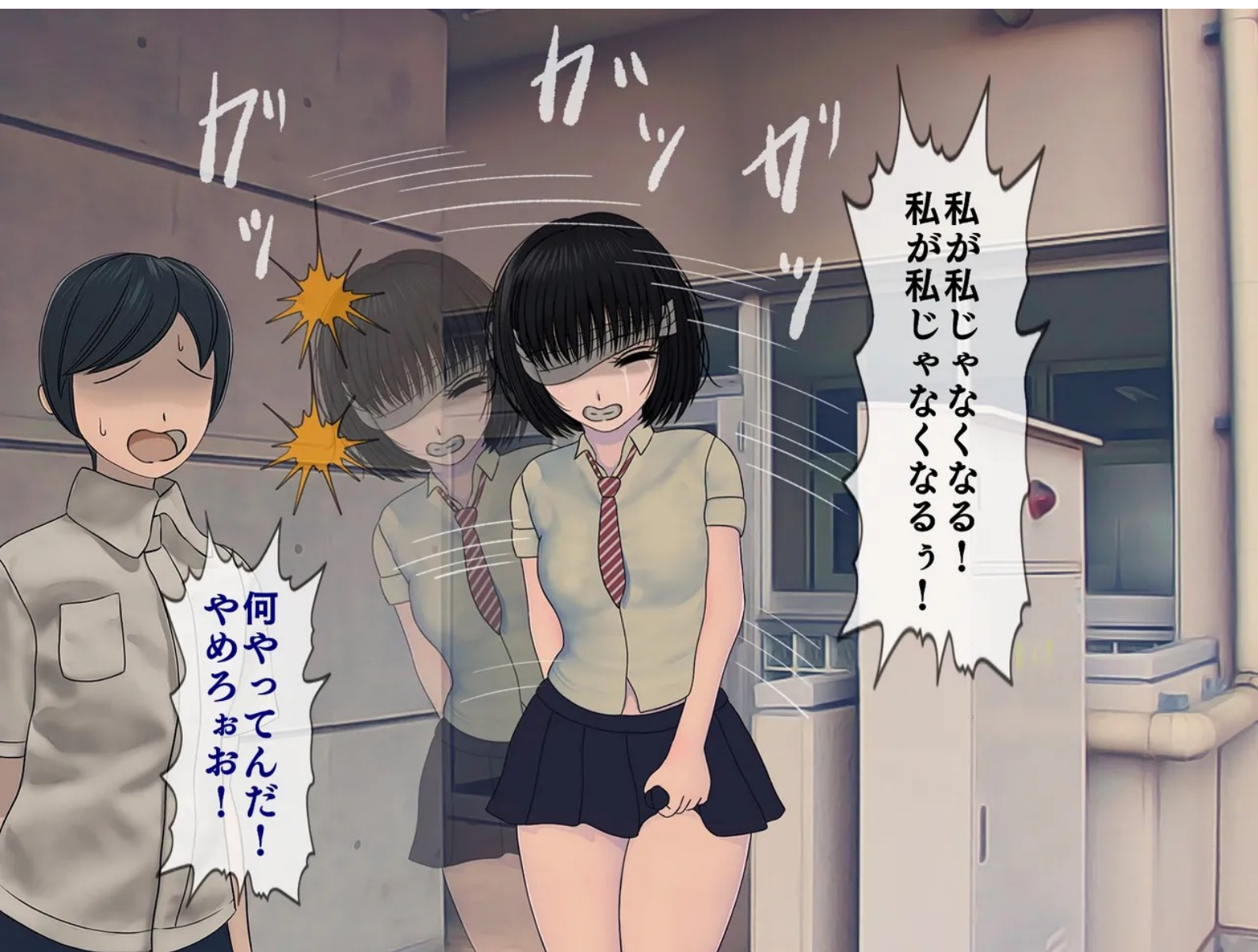
うわああああ
ああああ！

ああああああ
あああああ！









ガッ

カッ ガッ

私が私じゃなくなる！
私が私じゃなくなるう！

何やってんだ！
やめろおお！





まさか、そうやって
自分の頭割ったの!?

やめてよ!
一体どうしたの?

うるさいです!



カゲヤマさん!

あなたに私の
気持ちなんて
わかりません!

ダ
ツ









なっ!?!
か、カゲヤマあ!
万引きするなあ!



こらあああああ！
待てえええ！
カゲヤマあああ！

アッ
アッ
アッ



ぬっ！あやつめ
男子便所に
隠れるとは
なんて卑劣な！

バ
タ
ン
ツ



あつ
サンゼンインさん

う、ウチダ!
大変なことが
起こったぞ!



カゲヤマめが
あろうとか
購買部で菓子パンを
盗むという大罪を
犯したのだ！

これは10年以下の
懲役に相当す！

は、はあ...

カゲヤマは今
男子便所に
籠城している！
しかし！

ここは
女人禁制ゆえ
私は入れん！

ウチダよ！
お前が代わりに
カゲヤマを
自首させるのだ

は、はい…









あっ！全部
食べやがったな
なんて卑しい人だ

まったく
万引きするわ
僕の時計盗むわ

さっき母親に見せた
真面目な態度とは
全然違うじゃないか！

モク...

モク...



あれは本当の
私じゃない！

あの女に強要された
偽物の私なんです！

えっ？

あの女は厳しい教育で
がんじがらめにして
私を聖人君子な人格に
矯正してくるんです！

でも
本当の私はそんな
人間じゃない！
このままじゃ
私は私じゃなくなる！

あの女の
操り人形に
なってしまおう！





本当は
悪いこと
いっぱいしたい！

あの女が禁止した事
全部全部
してみたい！

非行したい！
不良になりたい！

バ
タ
バ



万引き
したい！

なっ・
ダメだよ！

タバコ
吸いたい！

ダメだよ！

お酒
飲みたい！

ダメだって！

パチンカスに
なりたい！

ダメだって
言ってる
でしょ！



じゃあ
エッチなこと
してみたい！

えっ！？
だ、ダメだよ...

ドキッ

なんでダメダメ
言うんですか！

イチジョウちゃん
からあなたを
好きにしたいって
言われたのに！

ゴムも
貰ったのに！

えっ…



(い、イチジョウさんめ
いつの間にそんなことを)

(ど、どうしよう..
カゲヤマさん
かなり自暴自棄に
なってる..)

(こ、ここは
鎮めるためにも..
し..したほうが..
い..いいのかな?)





そ、そんなに
言うなら・・
ぼ、僕が・
相手を・



こ、怖いで！
触らないで！

見られたら
恥ずかしいから
め、目隠しして
ください！

ええ...





(あっ..
か、カゲヤマさん
僕の体触ってる..)

!!

サッ..
ドン..



サッ..
ドン..





(おち○ちゃん
太くて…
熱い…)

(私…
ついに…)

グワッ

キムッ





(あ...あ...
す、す、い...
私、今...
おち○ちん
舐めてる...)





（あっ・・・わ、私
フェラチオ・・・してる
すごい・・・いけないこと
してる・・・）







ふはあ...

(うっ...
変な味...
これ...
せーし...
...)

はっ...
はっ...
っ...



(ふ、ふふふふ...)

(す、すごい...
こないけないこと
したの初めて...)

(っ、次は...
いよいよ...)



ト
ッ
ッ



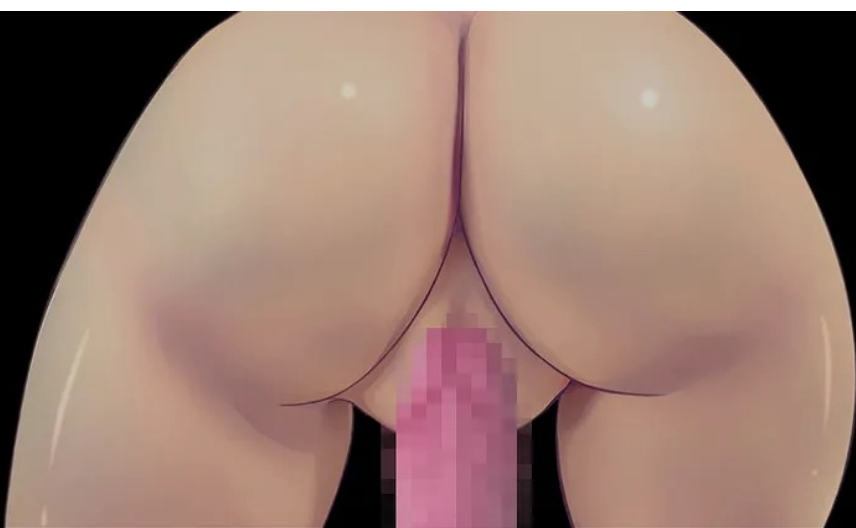


いっ...

ビッ
フッ
ン



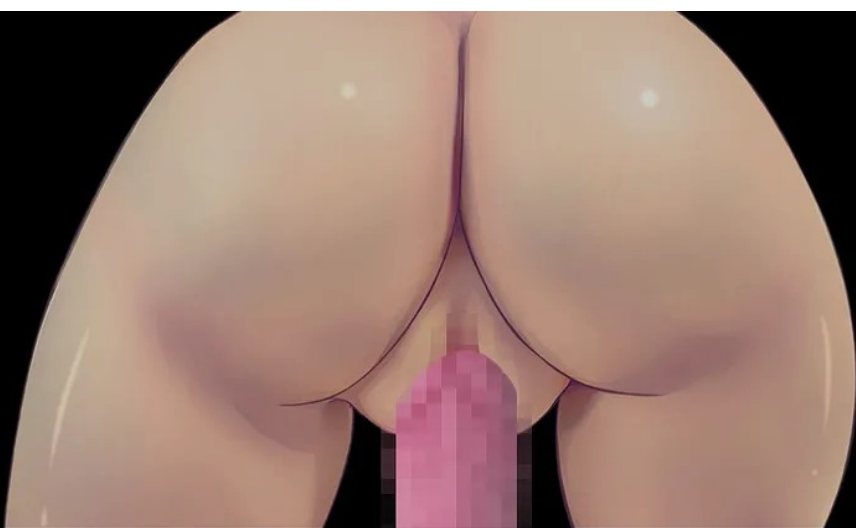
(あ...あ...
こ、これは...
ゴム...ゴムが...
付けられてる...
...)



ニ270..



(か、カゲヤマさん..
ついに..僕と..)



ドゾ..



(あ...あ...挿っ)





(おち○ちんが..
中に..)

(は、挿っちゃった..)



ニ
ニ
70

ニ
ニ
70



(こ、腰を...
振ったら
いいのかな?)

(ど、どうしよう...)





(セックスしてる
セックスしちゃってる
よお・こ)

(あ・私・今・わ・い)









(あ、熱いのが...
広がって...
しゅ、射精...
してる...?)

(こ、これで
セックス...
おしまい...?)



カゲヤマさん

も...も...も...も

ああ...ああ...まだ...まだ...終わりがたくないです







(ききもちよく
なって・・・きた♡)

(あっ・・・あ
す、すごい)





(な、なにか
き、きちゃう
きちゃう!
ああああ♡)

ん

ん

(あ、あっ♡
だ、だめ:
きちゃう♡)



ん

ん
ん
ん
ん







も、もっと・・・
き、きもちよく
なりたいです・・・

う、ウチダさん・・・
ち、乳首・・・
せ、責めて・・・

えっ？











見た？
顔真っ赤にして
逃げていったよ

サンゼンインって
やっぱ男に対する
免疫ないんだね



いつも模範生ぶって私たちに説教するからウザかったけど...

ふふ...カゲヤマちゃんとおチダくんのお陰で堕ちるかもね...

コバちゃんよかったね...仲間が増えるよ...

う、うん...





イチジョウさんに
比べ、ツルペタの
オッパイだけど

ビクンビクンと
敏感に反応
するので、僕は
夢中になって責めた

僕は手探りで
カゲヤマさんの
乳首を愛撫した



あっ...あ
いい...です

腰も...

うん...





か、カゲヤマさん
き、きもちよすぎ

も、ぼ、僕…
もう…









はあ・・はあ
(す、すごい
エッチだった・こ)







やっちゃった・・・

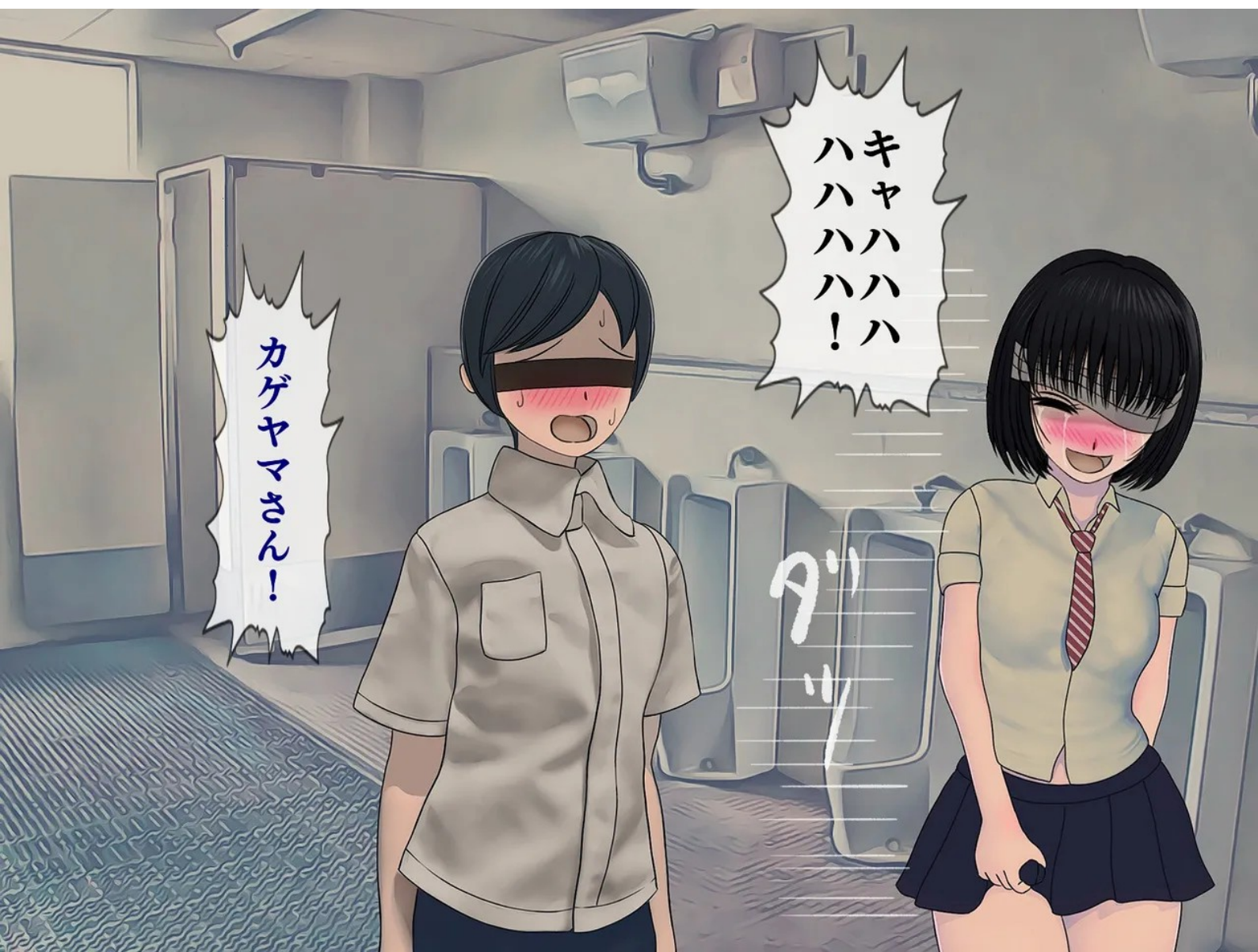
あの女が
絶対するなって
言ったこと・・・

やっちゃった・・・
ふふ・・・



私はついに
「本当の自分」に
なるんだああ！

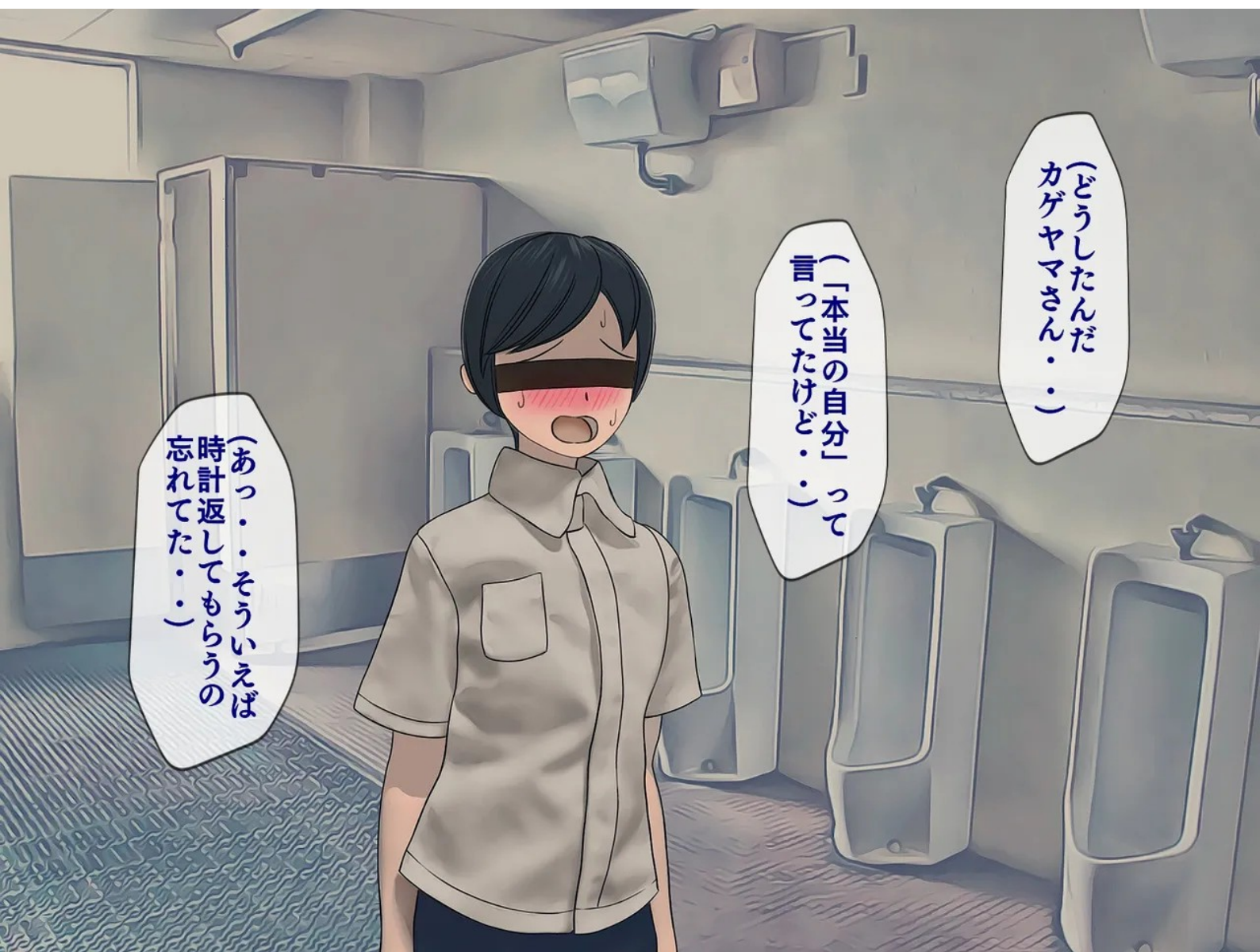
あっはっはっは
ざまーみろ！
私はあなたに
言いたくない！



(どうしたんだ
カゲヤマさん・・)

(「本当の自分」って
言ってたけど・・)

(あっ・・そういえば
時計返してもらったの
忘れてた・・)



その日の夜・
サンゼインの家





父上。
本日も学び舎にて
勉強、清掃、部活を
全力で行いました

うむ。流石
私の娘だ

ところで・
もうすぐ
バレーの
地区予選だが

全国出場は
当然のことと
して・・

今年こそは
絶対に優勝を
目指すのだ！
負ければ
腹を切る覚悟
でな！！

（は、腹を切る覚悟！）





わかりました父上！
私は必ずや全国制覇を
達成いたします！
そして必ずや
栄光のトロフィーを
父上に献上致します！

うむ。流石
私の娘だ

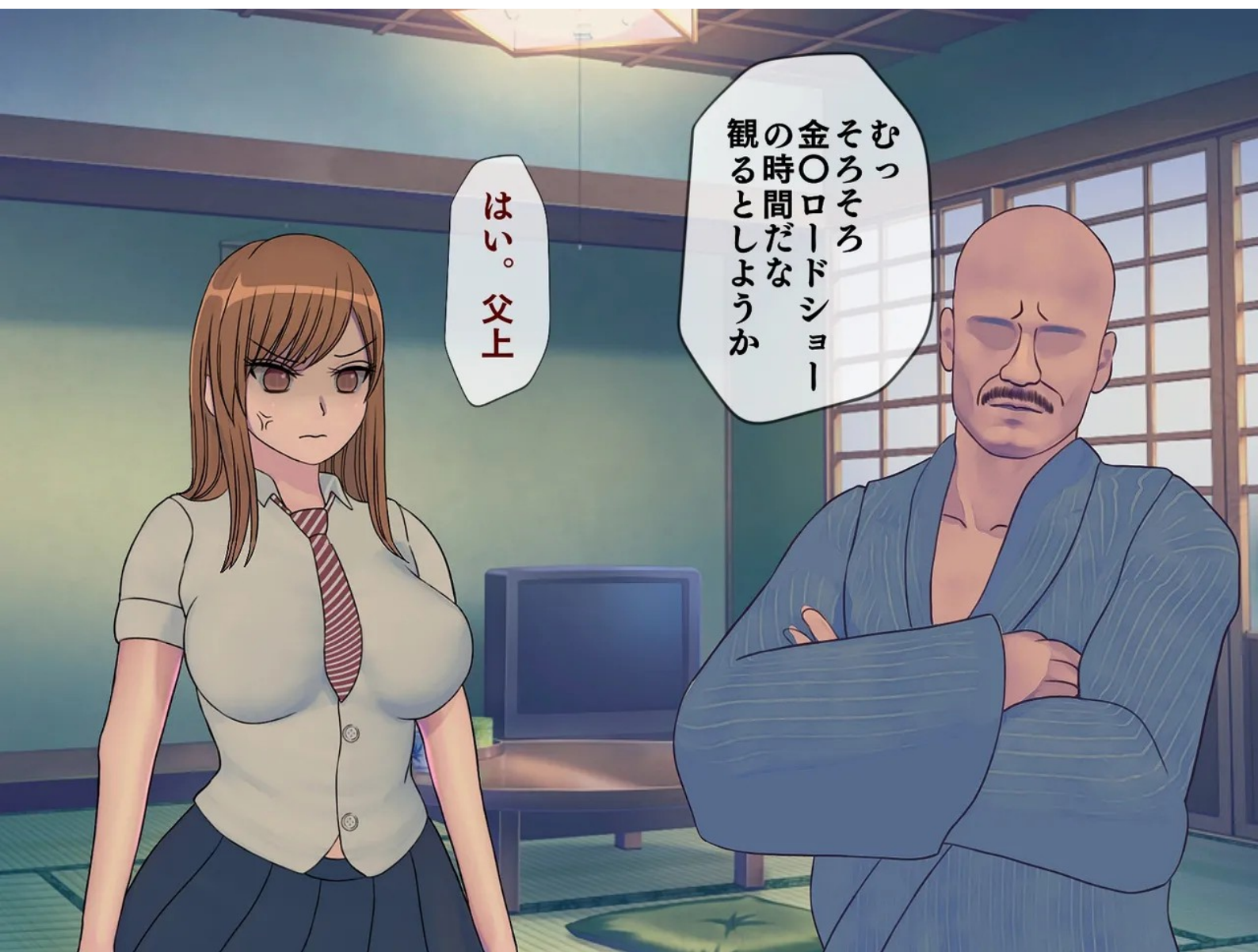
死ぬ気で練習
するのだぞ！
まったく今の教育は
ぬるすぎる

私の若い頃は
炎天下、水も飲まずに
鉄下駄でうさぎ跳びしたもんだ
体罰、しごきは当たり前！

大事なのは
気合と根性！
分かるな！？

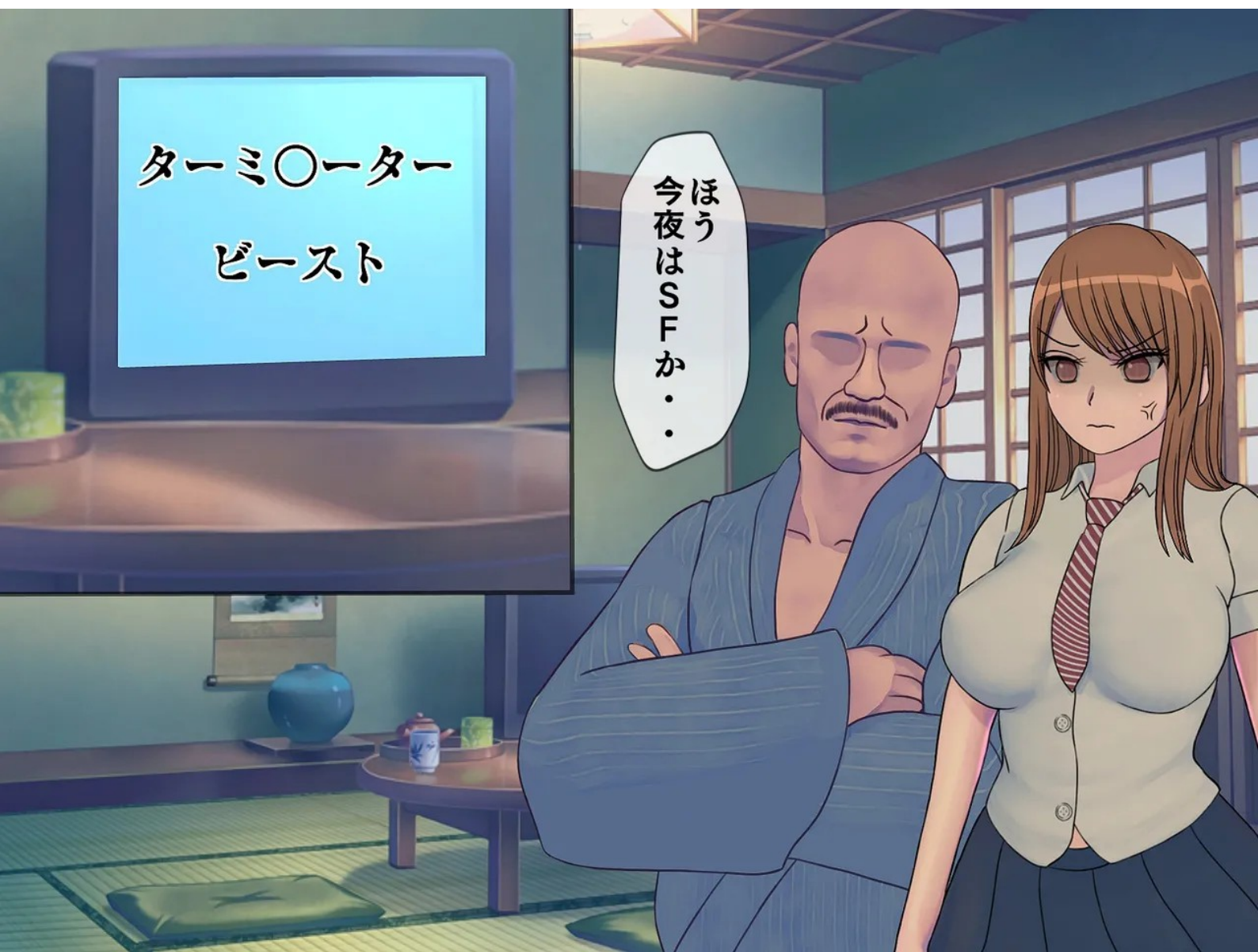
はい！父上！





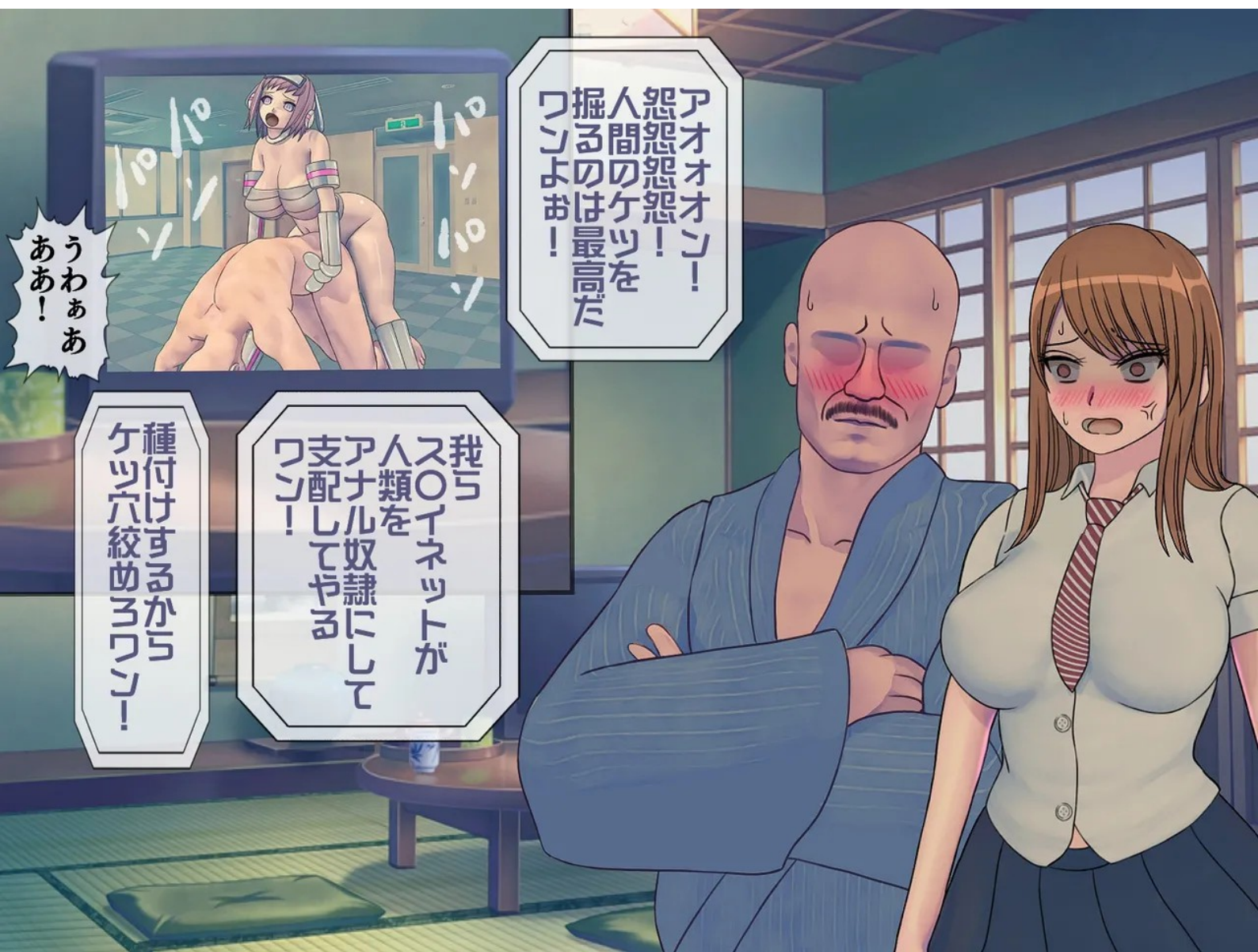
はい。父上

むっ
そろそろ
金〇ロードショー
の時間だな
観るとしようか



ターミ○ーター
ビースト

ほう
今夜はSFか...

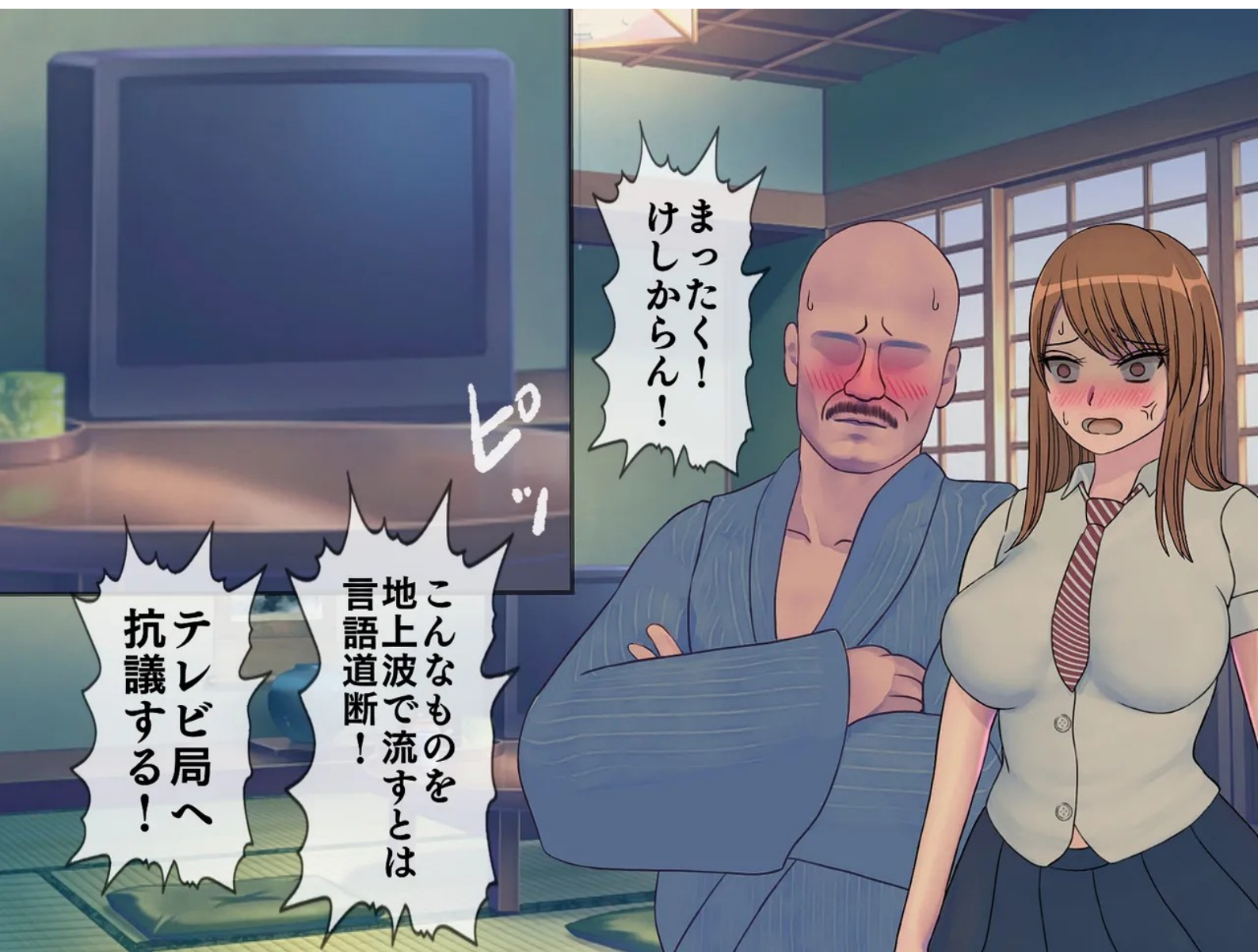


アオオオン！
怨怨怨！
人間のケツを
掘るのは最高だ
ワンよお！

うわああ
ああ！

種付けするから
ケツ穴絞めろワン！

我ら
ス○イネットが
人類を
アナル奴隷にして
支配してやる
ワン！



まったく！
けしからん！

こんなものを
地上波で流すとは
言語道断！

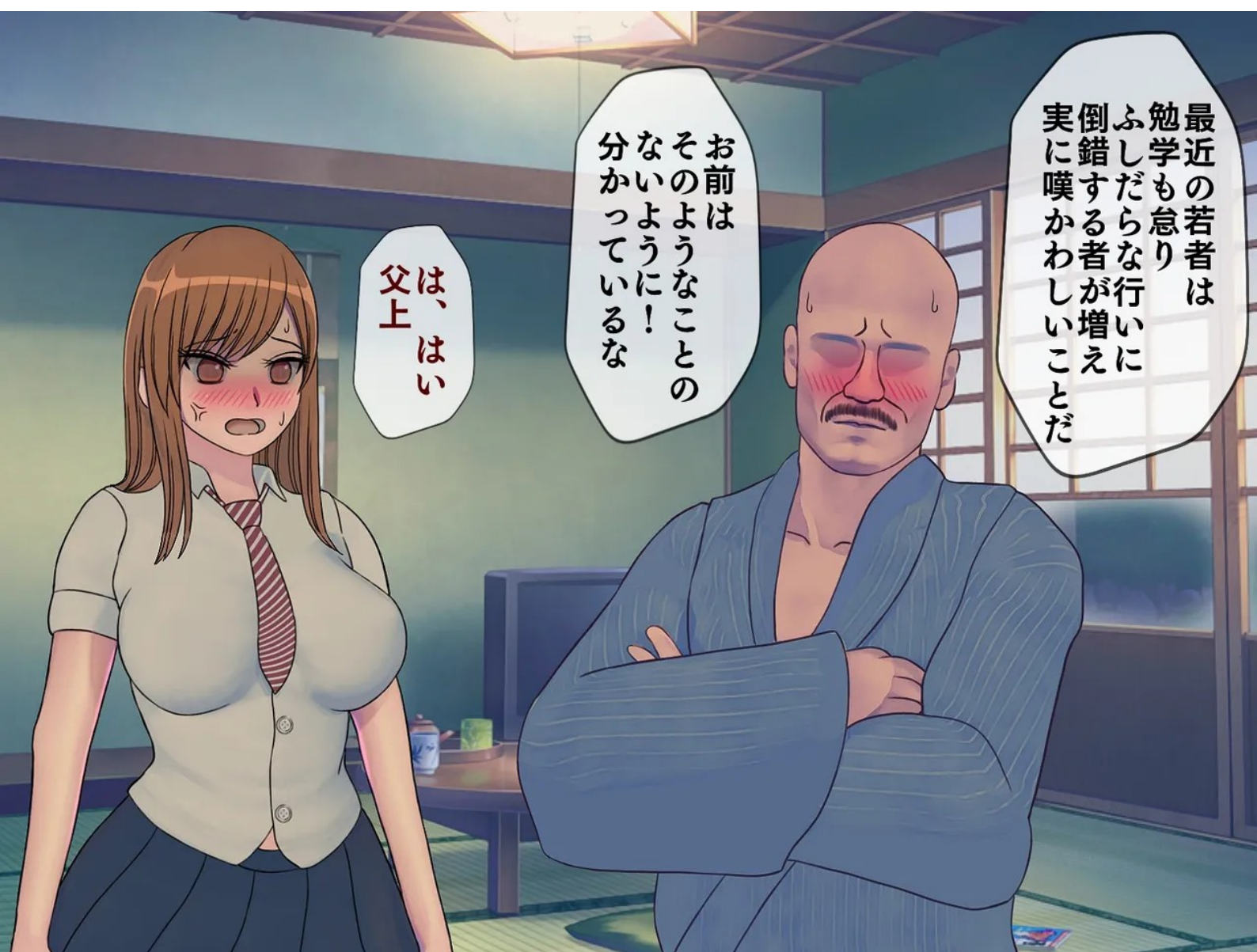
テレビ局へ
抗議する！

ピッ

最近の若者は
勉強も怠り
ふしだらな行いに
倒錯する者が増え
実に嘆かわしいことだ

お前は
そのようなことの
ないように！
分かっているな

は、はい
父上





くっ．．父上に
報告するわけにはいかん
学校であのような事が
あったとは．．



(心を乱すな
サンゼンインよ..
私は淫らな誘惑
などには..
負けん!)

体育館
バレー部コート









(くそ．．
今日こそ
カゲヤマさんから
時計返してもらおうぞ)





(な、なんだこの
不敵な笑みは…
この前まで
陰キャ丸出し
だったのに…)

か、カゲヤマさん

この教室へ
なんの用ですか？
ウチダさん…
ふふふ…







それでは
練習を
開始する！

我が校
バレー部は
今年こそ
全国優勝するぞ！
よいなああ！

はい！
キャプテン！



水分補給を
怠るなよ!

熱中症対策
できぬ者は
スポーツマンに
非ず!

はい!
キャプテン!





(んっ?なんだ?
急に体が熱く
下腹が疼いてきたぞ)

(いつもの
ドリンクのはずだが
おかしいぞ?これは
おかしいぞ...)

キャプテン?



さっさと
練習開始
せんかああ！

はい！
キャプテン！

なんでも
なあああい！



(あっ
サンゼンインさんだ
そういえば
バレー部の
キャプテンだっけ)

こらああ! もっと
気合を入れんかあ



ふふふ
凄いですよね
サンゼンインさんは

あの人の活躍で
田舎のバレー部が
いまや強豪校

実業団からの
スカウト話もあって
学校、父母からの
期待を一身に背負う
優等生・・・





嫉妬？
違います・・・

私は
サンゼンインさんに
哀れみを
感じているんです

何故なら彼女は
大人の操り人形
だから・・・

はあ？



あの人は親や大人の都合のいい子供になるように洗脳されてるんです・・

可哀想に・・
いままで自分の
したいことも
抑え込んで
生きてたんです

私のように・・



だから私は
あの人を
解放して
あげるんです…

「本当の自分」に
目覚めるために

えっ？



ああっ！

それっ
時計返して
あげます

ホイッ



投げな!
これは限定品
なんだぞ!





えっ？

きゃあああ！
危ない！







ウチダあああ！

きゃあああ！
キャプテンの
殺人スパイクが
当たっちゃった！



すぐに
保健室へ
連れて
いかな
ば！

いかん！
気を失
っている











いいかん、
いいかんぞ
よこしまなことを
考えては

保健室に
連れていかねば
ならんのに
こんな所へ来ては
いかん

ハレンチな
気持ちになっ
ては
いかーん！



ドキ

ドキ

ドキ

ハレンチな...

気持ちになっは...

.....





・・・
(温かい・・・)

(それに
男子の匂い・・・)

ドキ

ドキ

きゅん

(体は小さいが・・・
やはり男なのだな・・・)



(想えば
幼少の頃、父上に
抱っこされて以来
男の温もりは・・)

んっ？

きゅー…



やる気満々ではないかあああ！

こ、こらあああ！
何を腫らせて
おるかああ！

ギン
ギン







（し、しまった！仕舞わねば！）

どキッ

あっ！

ボロッ



くっ・・・
こやつ・・・

なんという
漢らしいイチャモツを
持っているのだ・・・

ドキ...

ドキ...

ど、どうすれば
いいのだ・・・
下腹の疼きが・・・
劣情が抑えきれん・・・



し、しかし
みだらな真似を
するわけには・

婚姻の契りも
結んでいない者と
姦通するなど
まかりならん！



(当て擦るだけならば...)

(そ、そうだ...)

ドキ...

ドキ...



こ、これは
姦淫ではない
す、すこし
擦るだけだ
……

す、すまぬ
ウチダ・

ハア……

ハア……



あっ...

ぽっ

ぽっ...



(それに
この感触・・・)

(あ、熱い
鼓動が伝わって・・・)



(擦りつけが..
止められん..)

あー

あー

(た、たまらぬ..)

グ
リ

グ
リ

グ
リ

グ
リ





すぐに
抜かねば！

い、いかん
挿ってしまった！







すまん!
ウチダ!



もう辛抱
たまらんだ...

す、すまぬう...

ん

ん

ん
ん
ん



だ、大丈夫だ...

あー

お前が
出す前に
抜けば...

あー

出す前に
終わらせれば...

ん







あ...あ...
しまった...

びしょ
びしょ
びしょ

びしょ
びしょ

どろ





ち、父上・
わ、私は・
とんでもない
過ちを・

意識の無い
相手に
ご、強姦の
ような事を
あ、ああ・

あ

あ



おめでとうございます
サンゼインさん...

!!



か、カゲヤマ…
いつの間に

これで
あなたも親の
呪縛から解放
されましたね…





ずっと物陰から
見ていましたよ・・・
アナタがウチダさんに
していた事のすべてを





た、頼む…
カゲヤマ…
このことは
誰にも…

ふふふ…





ならば
ウチダさんを連れて
一緒に旧校舎まで
来てくれませんか？





んっ・ん

ま、真っ暗だ・

一
何が体
・
・





えっ・・・？

う、動けない・・・
縛られてる？

な、なんで！？

カゲヤマあ…
貴様…

(えっ?)
この声は…





先のこととい
この私に何の
恨みがある！

私とウチダを
拘束して
どうするつもりだ



解放だと?

恨みなんてありません
私はただ
可哀想なあなたを
解放しに来たんです



もう親や大人の
命令に縛られなくても
罪悪感を感じなくても
いいんです

やりたいことを
好きなだけ
やりましょう。
「本当の自分」が
求めるままに。。

なに？



そこに
ウチダさん
イチジョウ
貸してくれ
「性玩具」
なんです・

この人相手なら
サンゼンインが
したかった
エッチなことを
いくらでもできますよ

なっ！

一緒に
メチャクチャに
犯しましょう



断る！

わ、私はそのような
非道徳的行為を
望んでない！

体育倉庫でのことは
ま、魔が差した
だけなのだ・・



こ、こらっ
何を塗って
いる!?

素直じゃ
ないですね
サンゼインさんは

スッパ

スッパッ



解放して
あげます...
私が...

や、
やめろ!

ズッ



な、
なんなのだ
これは？

さあ
ウチダさんも
どうぞ・・・

うわああ
あああ！

又知

又知



媚薬軟膏だと？

ま、まずい！これは
イチジョウさんの
「媚薬軟膏」だ！









止めろ！止めろ
カゲヤマあは
このままでは
このままでは
！！！！

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か









こ、こんなもの
好きではない！
拭いてくれ
カゲヤマあ

よかったですね
サンゼインさんの
大好きな精液
ですよ・・



な、なにを...

まだ自分の気持ちに
正直になれないん
ですか...
しょうがないですね



は、離せ・・・
カゲヤマ

いやなら
力で振り払えば
いいじゃない
ですか



抵抗しないとい
うことは
本当は
望んでるん
でしょう？

エッチなことを

そ、
そんなこと





ほら正直に
言ってください

あーあーあーあー

パン

パン

パン

パン



どうです？
気持ちいい？
気持ちいい？
ですか？

正直に
気持ちいいって
言ってください



ほら・・・
言わないと
腰振りして
あげませんよ

えっ・・・

ゴッ





やっと素直に
なれましたね
サンゼインさん





ふふふ・・
気持ちよさそう
サンゼンインさん

あ

あ



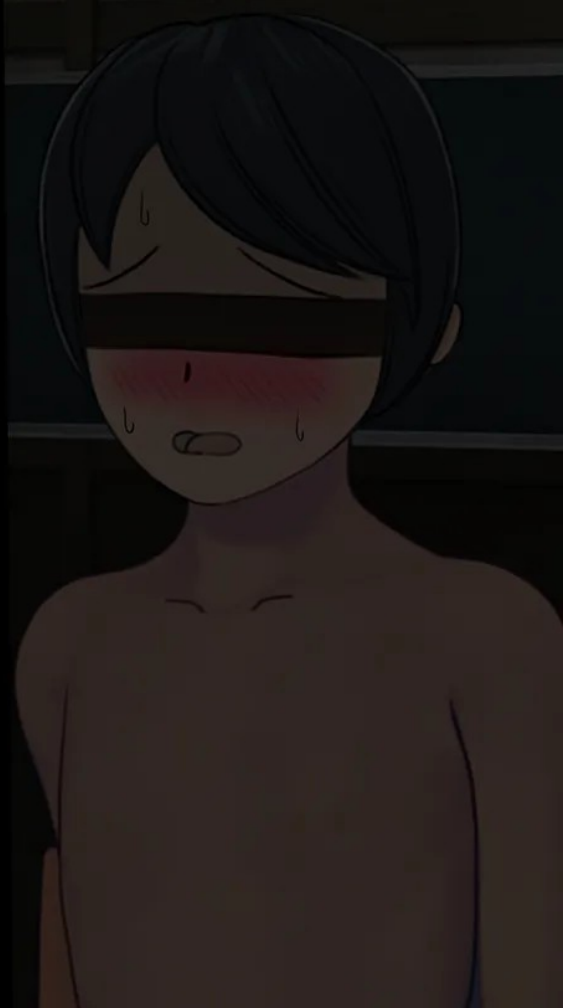
42ハ；

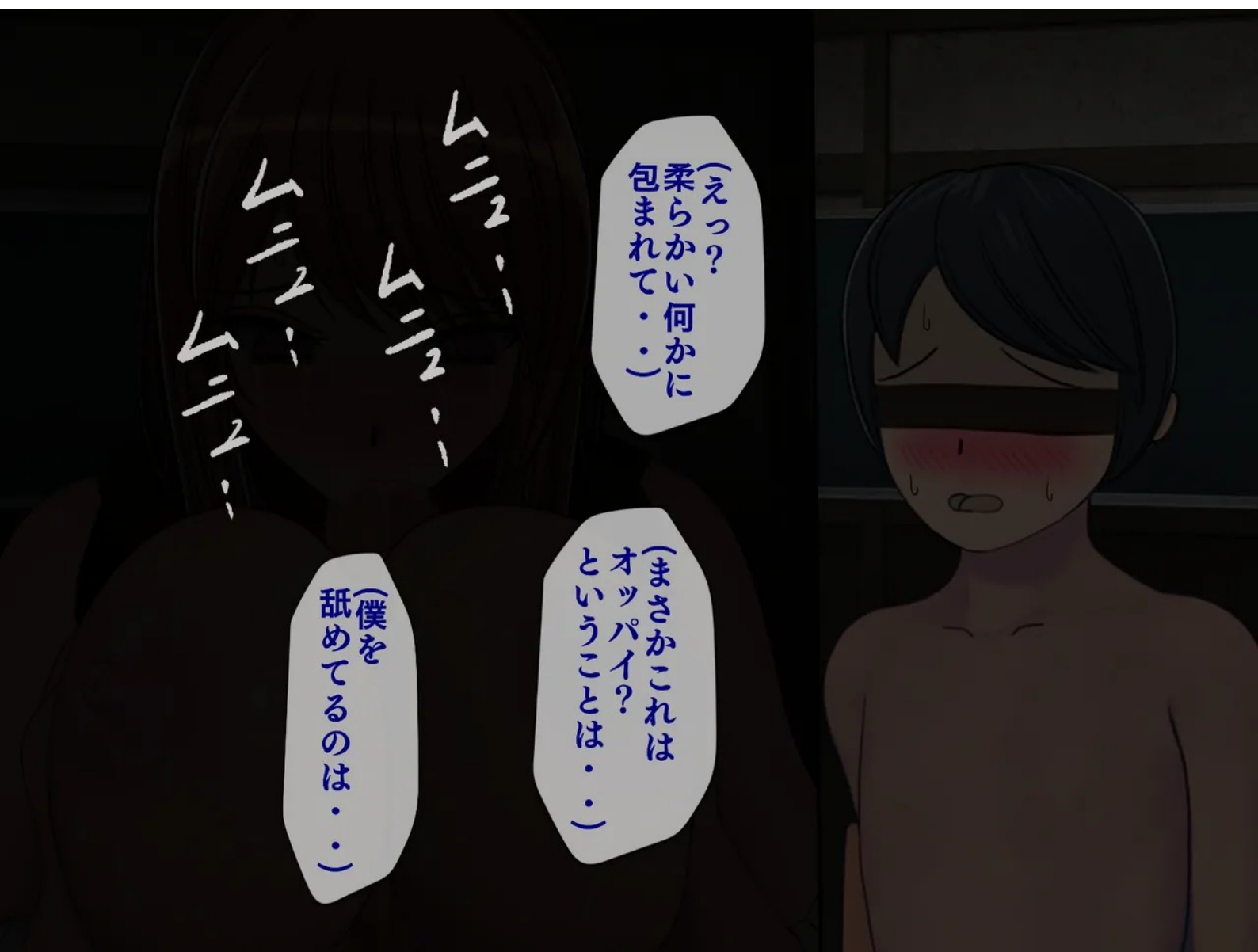
42ハ；

42ハ；

(あっ...あっ
ち、チンチン
舐められてる...)

(カゲヤマさんか?)





(えっ?
柔らかい何かに
包まれて...)

(まさかこれは
オッパイ?
ということとは...)

(僕を
舐めてるのは...)

ムニニ...
ムニニ...
ムニニ...



(サンゼンインさん！
そ、そんな！)

あんなに
真面目な人が
なぜ！？



好きなだけ
しゃぶっていいんですよ
サンゼインさん

本当はこんなことが
したかったんですね











ああ..
あ..
..
♡

広口
が
い
っ
つ
ぱ
い
..
..
て

味男
が
の
..
..
..
て



ガ
バツ

あああああ
あああああ
あああああ
♡

わあ！







父上・
申し訳ありません

ふしだらな
行いをして
申し訳ありません

気持ちよくなって
申し訳ありません



サンゼンインさん！
落ち着いて！
あなたは媚薬で
狂わされているんだ

カゲヤマさんの
言葉に
惑わされないで

ちがうのだ…

えっ？

事実・・・私は・・・
お前の陰茎を
見た日から・・・

淫らな妄想を・・・
願望を・・・
抱いてしまった・・・

申し訳ありません
父上・・・私は・・・
私は・・・







快感を貪る・・・
淫乱女に・・・
堕ちて・・・
しまいました・・・

申し訳ありません・・・
父上・・・
私は・・・あなたの・・・
理想の娘に・・・
なれませんでした・・・



自分を責めなくて
いいんですよ・
サンゼンインさん

理想の娘に
なる必要なんて
まったくありません



あっ..
何をす..
カゲヤマ..
..

もっと..
力を抜いて..
墮落して..
生きましようよ

親の期待に
応え続けても
辛いだけですよ

地区優勝したら
全国優勝、プロ、
世界ってどんどん
ハードル上げて

一度でも挫折したら
慰めもせず、完膚なきまで
責められますよきっと

そんなの
サンゼンインさんが
可哀想です・・・



な、なにを言う！
私は必ず
全国優勝
するのだあ！

まだそんなこと
言ってるんですか？





だから頑張っても
キリがないんですよ
おサンゼンさんって
おバカなんですかあ？



ほら、気持ちいいですか？
今まで禁止されてた
オモチャとチンポ
気持ちいいですか？



自分から
腰振って・
サンゼインさんが
自分に正直に
なれて嬉しいです



これで私たち
お友達ですね。
一緒にいっばい
— 一緒にいっばい
いっばい、いっばい
しましう、いっばい

シャワー

ビーン

ビーン

ビーン

ビーン

ビーン







さ、さっきから
聞いてれば
カゲヤマさん
あなた・



サンゼンインさんの
意志を全然
考慮してない・・・

媚薬を使って
無理矢理
墮落の道へ
引きずり込もうと
してるじゃないか

勝手に
サンゼンインさんを
可哀想な人と
決めつけて

.....

部外者の
ウチダさんが
水を差さないで
もらえますか・・

サンゼンインさんは
親に洗脳されてて
自分の意志が
分らないから
いいんです・・





だからそれが
勝手な決めつけって...

うるさいですねえ！

あなたに
私たちの何が
分かるって
いうんですか！



性玩具のあなたが
私たちの関係に
口出さないで
ください！

うわあ！

何もかも
親に管理された子の
気持ちはあなたには
分からないですよ

学校でも家でも
勉強を強いられ、
遊びや寄り道は
一切禁止！

スマホも買ってもらえない
お小遣いももらえない
漫画もゲームもテレビも
禁止！



あれもダメ！
これもダメ！
ダメダメダメの連続で
何一つ自分で
決めさせてもらえない！
選ばせてもらえない！

あーしろ！こーしろ！
こう生きろって！
すべて命令されて！
強要されて！

何もかも縛られた
子の気持ちがあな
たに分かるって
言うんですかー！





イチジョウさんに
悪い遊びを
教えてもらわなかったら
私は今頃、狂って
ましたよ・

あなたの目には
墮落に見えるかも
しれませんが、
非行は私が
生き返る手段なんです

いちいち
否定してこないで
ください！





聞いてるんですか!?

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

ハッ

サンゼンインさんは
私と同じ境遇なんです
可哀想な子なんです

今は耐えられても
このまま親のいいなり
になっていたら、
いつか壊れてしまう！

だから私が！
だから私が！





救ってあげるんですう!!!

ドビュ

ビュ

おっおっおっ

だからあなたは
黙って、私や
サンゼンインさんの
慰み者になってれば
いいんです！

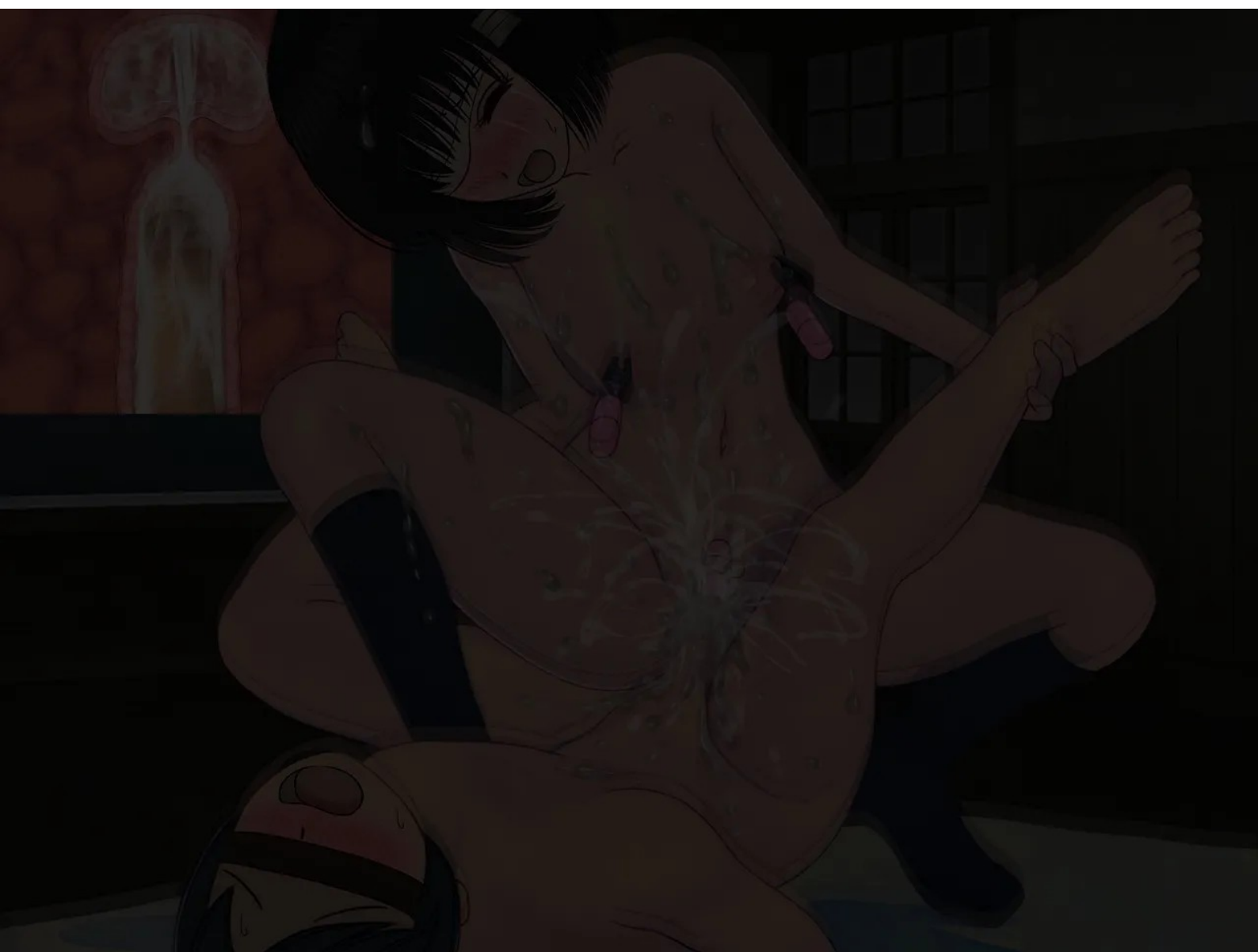
あなたは
性玩具
なんだから！

文句言わず
チ○チンだけ
差し出せば
いいんですよ！

















これからも
一緒に快樂に
堕ちましょうね・
親も部活も
全部忘れて・



それとウチダさん・
他クラスの子たちも
あなたに興味を
持つてみたいですから
相手をしてあげて
くださいね・

性玩具と
して・





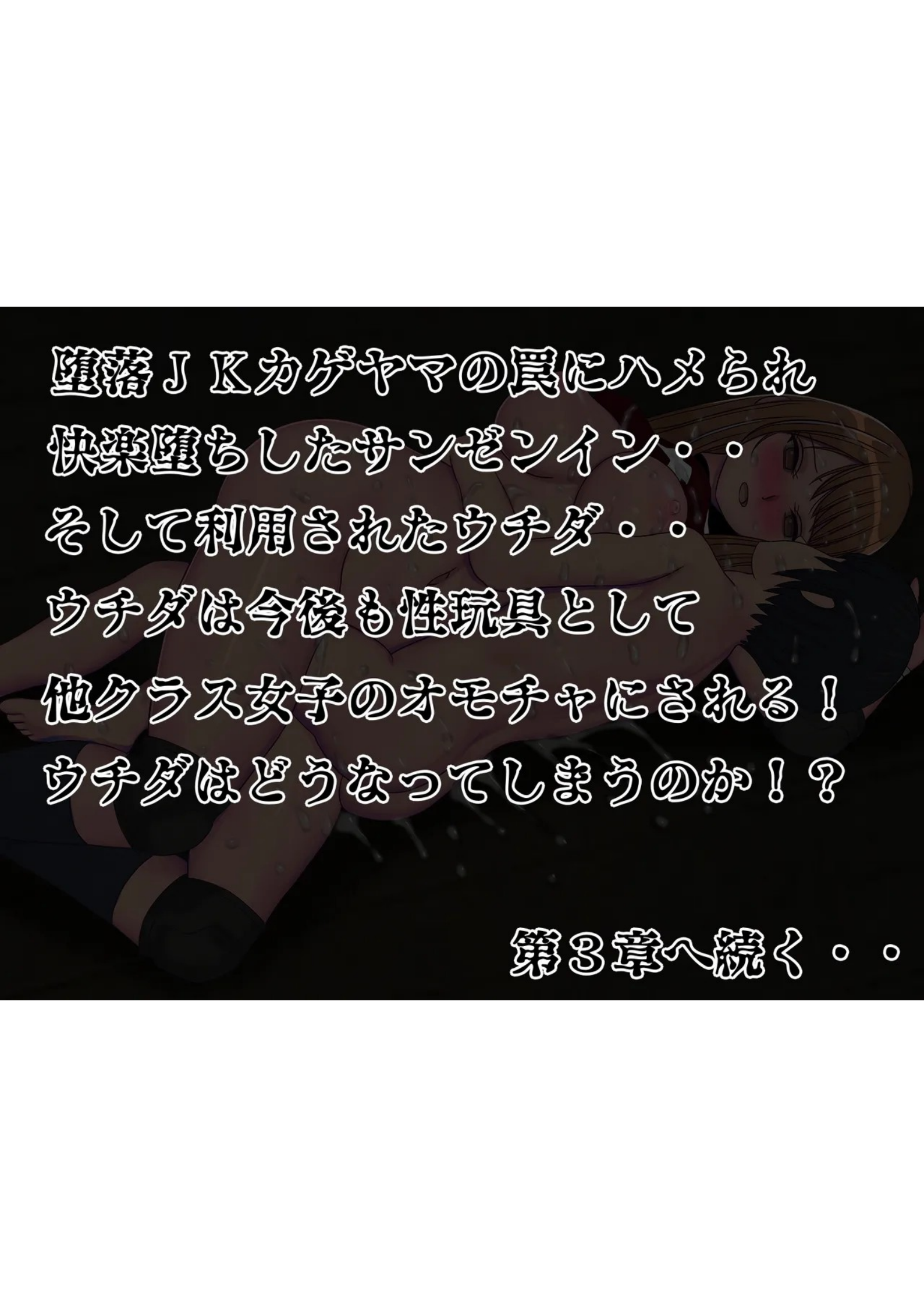
ウチダ...
すまぬ...
お前を...
無理矢理...
.

サンゼンインさんは
悪くないよ...
.



（し、知らなかった
僕・学校で
性玩具って
扱いだったんだ・）

（他クラスの人にも
目をつけられて・
僕、これから
どうなっちゃうん
だろう・）



墮落JKカゲヤマの罠にハマられ
快樂墮ちしたサンゼンイン。。
そして利用されたウチダ。。
ウチダは今後も性玩具として
他クラス女子のオモチャにされる！
ウチダはどうなってしまうのか！？

第3章へ続く。。